3．加工食品　製造
（1）企画
①誤認又は表示ミス

確認不足による誤表示

工程	表示ミス事例	ミスの要点	改善例	日常管理のポイント
企画	**原料原産地表示における「又は表示」の注意書きをせずに販売**	体制不備／制度理解不足 **・原料原産地の表示に関して理解していなかった** **・チェック体制が不十分であった**	・表示ラベル作成担当者に対し、食品表示制度に関する研修を実施 ・表示ラベル作成後のチェック体制を強化し遵守を徹底	**・原料原産地表示について理解しましょう。** **・チェック体制の強化のため、従業員のスキルアップをはかりましょう。**
包材調達				
原材料調達	製造メーカーの表示ラベル作成担当者に、「いか明太」の原料原産地 について**「又は表示」を行う場合、注意書きを併記するという認識がなく、表示の欠落が発生**した。 →以下のような注意書きを併記すべきだった。 **『いかの産地は前年の使用実績順』**			
製造・加工				
包装・箱詰め				
出荷				

名称	魚介類加工品
原材料名	いか（タイ又はベトナム）、…

※いかの産地は、前年の使用実績順

コラム：原料原産地表示における例外表示とは

✓ 対象原材料の原産地が複数ある場合、対象原材料に占める重量割合の高い原産地から順に国名を表示するのが原則ですが、一定の条件下で以下の例外表示が認められます。

①又は表示：過去の一定期間における使用実績又は将来の一定期間における使用計画における対象原材料に占める重量の割合の高い原産地から順に「又は」でつないで表示する方法

②大括り表示：３以上の外国が原産地のものを使用している場合に外国の原産地表示を、「輸入」や「外国製造」などと括って表示する方法

③大括り表示と又は表示の併用：「国産又は輸入」や「国内製造又は外国製造」などと、一定期間使用割合の高い原産地から順に「又は」でつないで表示する方法

※①及び③については、注意書きを原料原産地名に近接した箇所に表示する必要があります。

※例外表示が認められる条件は、表示をする時点（製造日）を含む１年間で国別の重量順位の変動や産地切替えが行われる見込みがあり、国別重量順表示が困難な場合となります。なお、例外表示を行う場合は、当該表示に至った根拠書類の保管が必要です。

３．加工食品　製造
（１）企画
②輸入品の国内加工

認識不足による誤表示

工　程	表示ミス事例	ミスの要点	改　善　例	日常管理のポイント
企画 ↓ 包材調達 ↓ 原材料調達 ↓ 製造・加工 ↓ 包装・箱詰め ↓ 出荷	**原産国名を原産国名欄ではなく、原料原産地表示として販売** 輸入した中国製造の「うなぎ加工品」を小分けして販売する際、原産国名欄に原産国を表示せず、国産加工品の場合と同様に、表示ラベルの原材料名欄内に括弧書きで原料原産地名を表示した。	体制不備　制度理解不足 **・輸入加工品を小分けしたとしても原産国名欄が必要になると知らなかった** **・チェック体制が不十分であった**	・従業員に対し、食品表示制度に関する研修を実施 ・担当者による相互チェックの体制を整備	**輸入した加工品の表示の基準を適切に理解しましょう。**

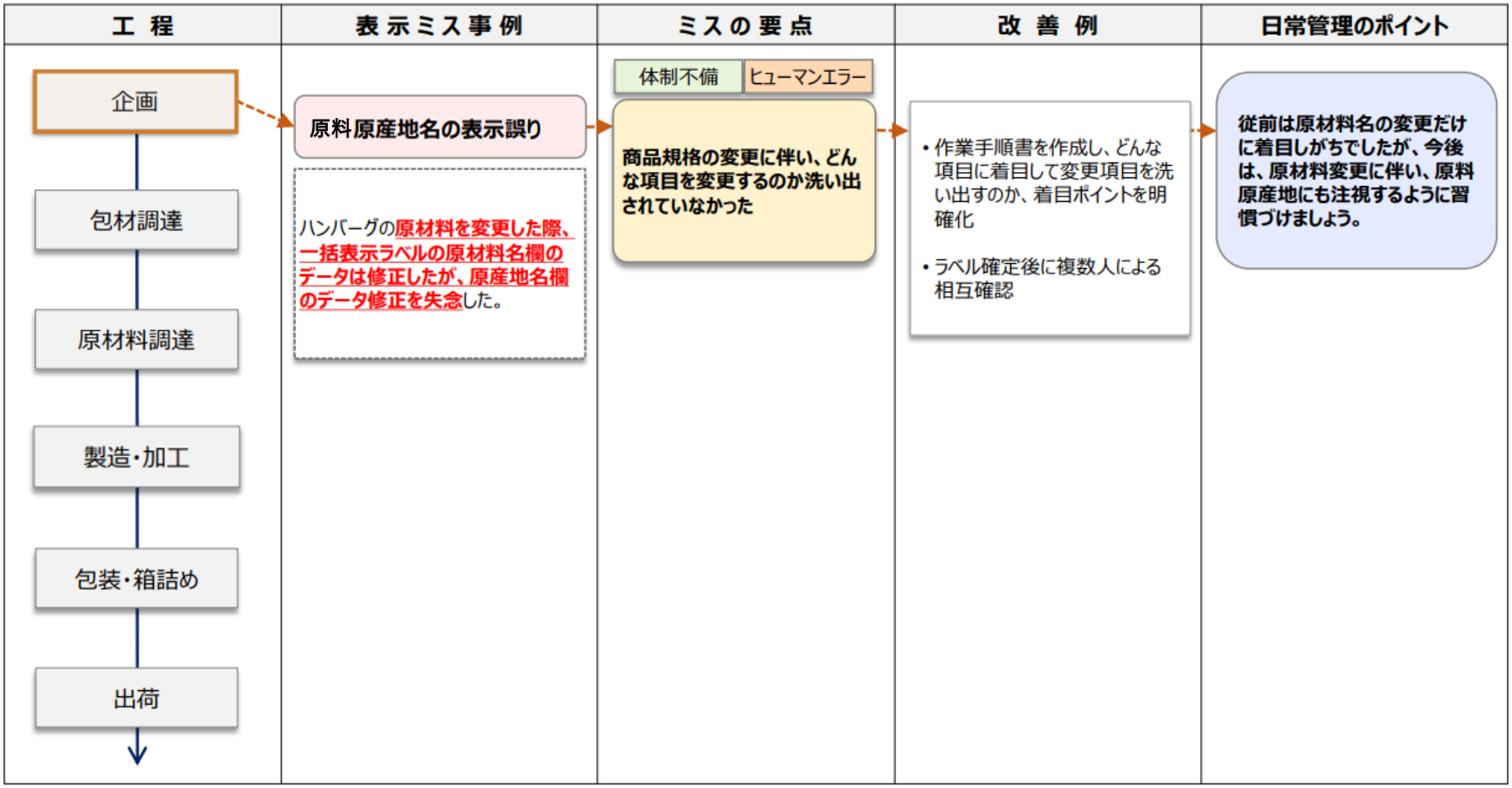
コラム：輸入品の原産国とは

✓ 製品の原産国とは、「その商品の内容について実質的な変更をもたらす行為が行われた国」のことを指します。

✓ 輸入後に単なる小分け包装や詰め合わせを行っても、「商品の内容について実質的な変更をもたらす行為」に該当しないため、製品輸入された製品と同様に、原産国として表示する必要があります。また、小分けの行為は加工行為に該当しますので、輸入品であっても加工者の表示が必要となります。

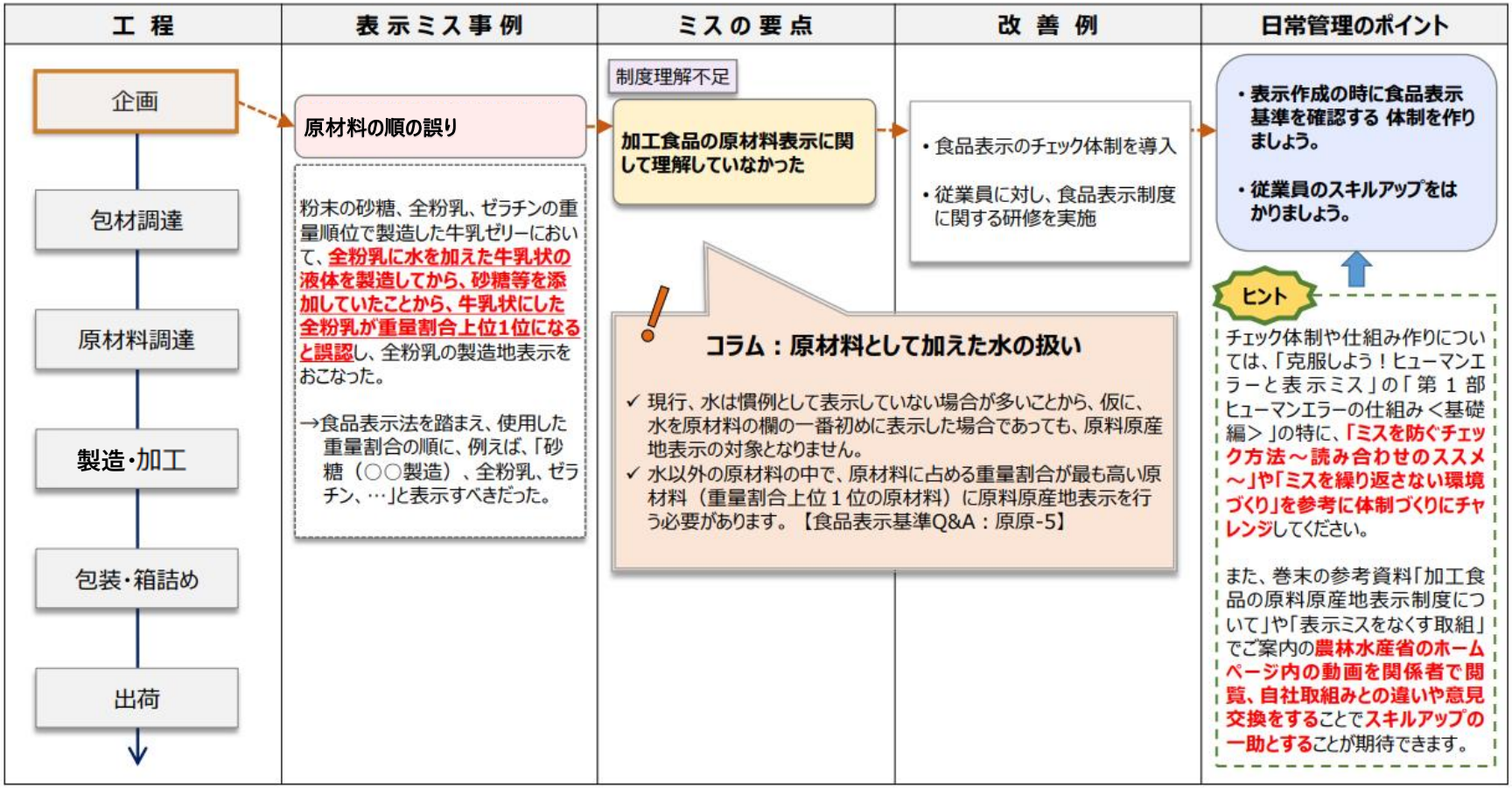
３．加工食品　製造
（１）企画
③原料原産地誤り

商品規格変更時の修正漏れ



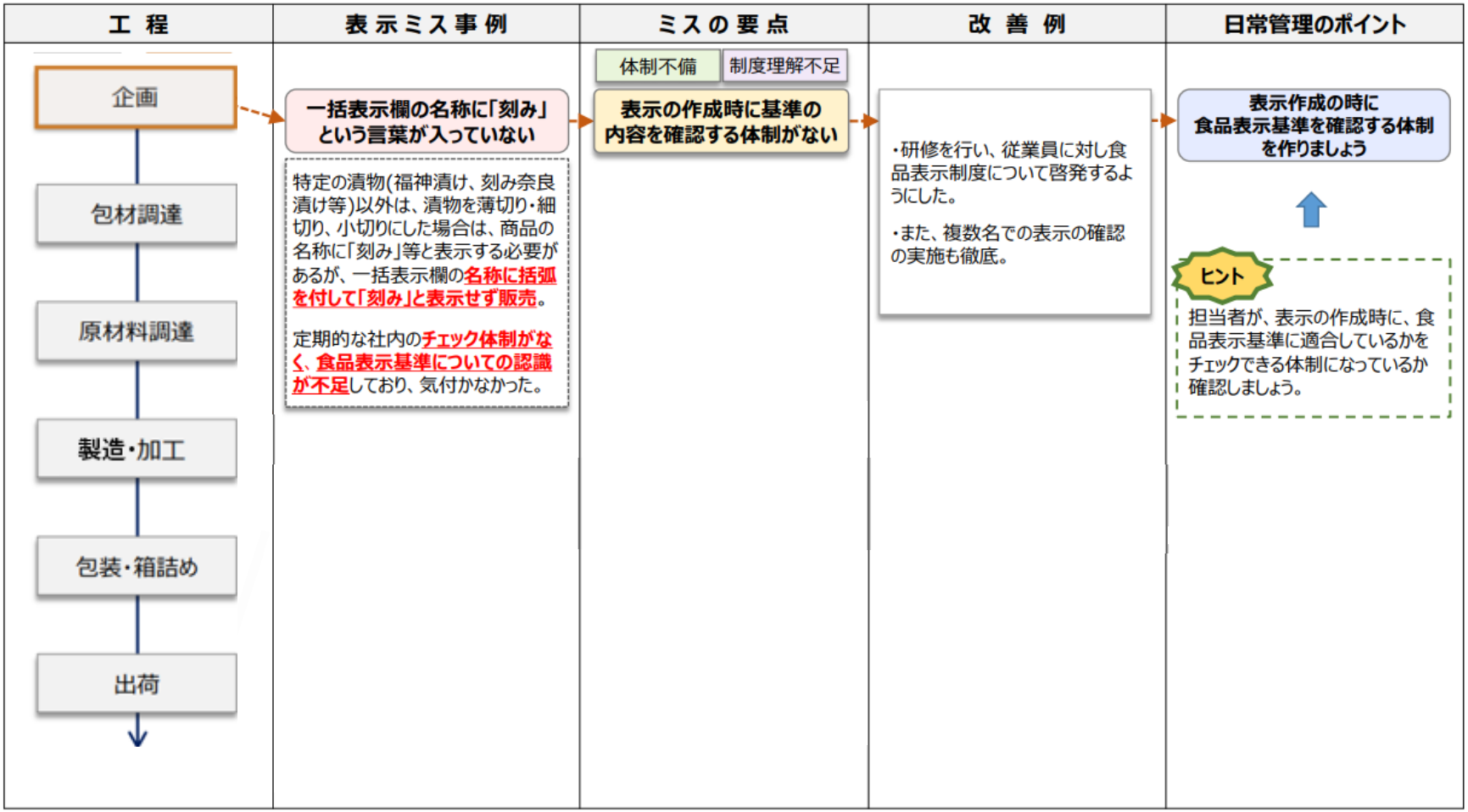
３．加工食品　製造
（１）企画
④原材料順誤り

誤認による一部項目の表示漏れ：重量割合の判断誤り



３．加工食品　製造
（１）企画
⑤個別表示間違い

一括表示欄の名称が不適切



３．加工食品　製造
（２）原材料調達
⑥原産国誤り

確認体制の不備

工程	表示ミス事例	ミスの要点	改善例	日常管理のポイント
企画 包材調達 **原材料調達** 製造・加工 包装・箱詰め 出荷	**納品された商品の原産国が通常と異なっていたことによる、原産国名の表示誤り** 仕入れ担当者が、仕入先である水産加工会社にいつもどおりの「塩さば」を発注した。 **納品された商品箱の原産国表示はいつもと違っていたが、**仕入先から変更の連絡もなかったため、**従前どおりの原産国を商品に表示し、誤った原産国名で商品を販売**した。 	体制不備　ヒューマンエラー **・荷受担当者が入荷箱記載の産地情報に気付かなかった** **・仕入先との契約で原産国変更がないとされていた商品であったため、確認体制が手薄になっていた** 	・入荷箱の記載情報を含む仕入先からの伝達情報を確認した上で、加工を開始するよう体制を整備 発注品と原産国が違うなぁ 	**・いつもと同じという思い込みに注意しましょう。** **・伝達情報を確実に確認することを習慣付けましょう。**